

実施日 令和3年9月5日
事業名 令和3年度第19回岩手県学童水泳競技大会
記載者 競泳委員会ジュニア強化委員長 大吹 賢司

事業内容や結果

○本大会において、岩手県独自の緊急事態宣言が発令される中、2日間開催の予定を急遽1日での開催となりましたが、大会新記録が15種目も更新されるなど、選手たちの日頃の練習の成果を発揮する絶好の大会となりました。

この大会を選考大会し、9月末に強化練習を行う予定でしたが県内の感染者数増加を踏まえ開催を取りやめました。春の県学童では更なるレベルアップを期待し、感染対策を十分に行ったうえで鶴継続したジュニア強化を図りたいと思います。

参加者数 234名
参加種目数 492種目
大会新記録 15種目(男子6種目、女子9種目)

反省や今後の課題

○男女入退場時間の間があまり無く、一時駐車場が混み合う場面が見受けられた。次回県学童大会は3月開催予定で降雪も予想されるため、時間配分について考慮する必要がある。

○男女別で開催したため更衣室は、男女更衣室を利用することが出来たことと、各チームで着替え用のテントを活用していただき、更衣室内での密状態を緩和することができました。

○大会セッティング、後片付けも多くの役員、チーム関係者の方にご助力をいただき、事故怪我無く迅速に行うことが出来ました。

○岩手県独自の緊急事態宣言が発令され開催日程の変更等、関係者の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。多くの方のご協力を賜り、無事に大会を終えることが出来ました。ありがとうございました。